

2018年6月20日 第44期 No. 3-503

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.net/wp/>

梅雨入り

前月号で、会員一人が増えて第44期は107名で出発しました、と書きましたが、会員名簿の郵送会員のところで番号を打ち間違いました。5番を抜かしたため、正式には106名でした。ご訂正ください。

梅雨時は不調が起りやすい時、いつもにも増して気配りが必要です。お元気でお過ごしでしょうか？

高齢者の運転は危険！

一度車を使用すると、高齢になってもなかなか手放せないようですね。足が弱くなると尚更必要度が増してきますから。

先日も90歳の女性ドライバーが赤信号をわかっていながら歩道に突っ込み、多くの方を死傷させました。事故を起こしてしまってからでは悔やんでも間に合いません。

高齢社会への対応を探る会では、5月の定例会で我孫子市の交通課などに来ていただいて、免許を返上した場合の交通手段について等、お話いただきました。概略を記します。

☆我孫子市内の公共交通

①市内路線バス

・坂東自動車・大和交通（布佐駅～利根町）

②コミュニティバス

あびバス 5路線

・新木ルート ・船戸・台田ルート

・栄・泉・並木ルート ・布施ルート

・根戸ルート

ふれあいバス 1路線（布佐ルート）

③タクシー 4社+個人タクシー

④福祉タクシー

このうちの②のコミュニティバスというのは、自治体が、民間事業者に委託・補助等を行い運行するバスのことで、我孫子市では年間5千万近い市税を補助しています。条件は交通不便地区（路線バスの便数が極端に少ない）を中心にして、ライフラインとしての運行をしなければならないところという意味合いが強いものです。運賃は150円ですが、一人310円の経費がかかっています。それぞれのルートของバス停、時刻表は都市計画課にあります。

通称；送迎バス事業

事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業。利用できるのは65歳以上の高齢者、障害者手帳を所持している方。交通課、高齢者支援課（高齢者何でも相談室）、障害福祉支援課、社会福祉課、行政サービスセンター（全7ヶ所）に届け出、「送迎バス利用パスカード」をもらいます。

送迎バス利用協力事業者（全11事業者）；

・東葛辻仲病院・我孫子東邦病院・高野山胃腸科内科・平和台病院・我孫子自動車練習所・中央学院大学・我孫子つくし野病院・我孫子聖人会病院・名戸ヶ谷あびこ病院・西部福祉センター・つつじ荘

利用できる曜日・時間帯；平日9：00～17：00*ただし、西部福祉センターとつつじ荘の送迎バスは休日の利用可。

送迎バスは事業者のご厚意で成り立っている事業です。市から補助金は出していないことをご承知の上ご利用ください。



運転免許自主返納者への優遇制度

平成29年6月1日から開始しました。

- ・利用できる人；70歳以上の我孫子市民
 - ①運転経歴証明書
 - ②申請用写真（3cm×2.24cm）
 - ③印鑑を持って本人が交通課へ
- ・2年間坂東バス・あびバス・アイバスが半額になる割引証とタクシー利用券2,000円分（200円×10枚）を交付。
- ・優遇制度は一人1回限り。本人のみ利用可。優遇制度利用時は、運転経歴証明書を携帯。障害者割引等、他の割引との併用不可。

買い物配達制度について

車を手放せないのは、重たい物を買った時に持てないからという理由が多いようです。

そこで、会では市内のスーパー等を調べてまとめました。これはまだ、湖北地区や布佐地区を調べていませんが、裏面に印刷します。

店によって条件がかなり違うことがわかりました。良くご覧ください。

また、買い物にも使うキャリーバッグを買うときは、4輪の、上から出し入れできるものが便利です。これは杖の代わりにもなります。

2輪の後ろに引くタイプだと、杖代わりにならないことと、後ろを歩く人の迷惑になる心配があります。人生の終わりまで、できるだけ他人への配慮のできる人でありたいと思います。

7月定例会

日時 7月2日（月）13:30～16:00

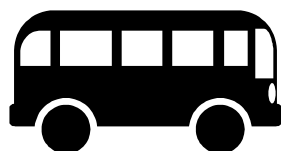
会場 我孫子南近隣センター 調理室 8F

定例勉強会として、昨年長谷川治氏の

「いまなぜせっけん？」のビデオから

8月の定例会はお休みです

例年8月の定例会はお休みです。「お知らせ8月号はいつも通り発行する予定です。



東北を忘れない旅 NO.6

8月29日（水）～30日（木）のバスを確保しました。

今年は福島県浪江町（寺田さんの出身地）の一部が避難解除地区に指定されました。しかし戻った人たちはホンの一部、700人くらいしかいないそうです。子どものいる家庭はほとんど戻っていません。これらのことと、今後の見通しなどを、役場の担当の方にバスに同乗していただいております。

その後、いわきまで戻り、塩屋崎ホテル（3年前宿泊）に泊まり、2日目はスバリゾートハワイヤンを訪ねる予定です。常磐炭鉱閉鎖に伴って町起こしのために作った施設は、震災後、避難先の慰問を積極的に続け、またいわきでも住民のチカラになるようにと復活しました。私たちも、少し楽しませていただき、チカラをもらいたいと計画しました。

上記のような予定をしていますが、これから変更があるかも知れません。ご理解の上、お申し込み下さい。

出発 8月29日（水）午前8時 我孫子北 ふれあい広場前

帰着 8月30日（木）午後5時の予定

宿泊 塩屋崎ホテル

費用 3万円（一応この金額を集め、後日実費精算）

先着 25名

申込 7182-2268 坂巻

7183-1434 和田

これは我孫子市消費者の会の行事ではありませんので、市民保険の適用外です。

樋口恵子さんのある団地での講演から

「青年よ大志を抱け、老人よ財布を抱け」

買い物という社会参加と決定権を最期まで持たせて欲しい、ということだそうです。

どんな地域に住みたいか～「歩いて買い物、近くに仲間、ちょっと稼げる仕事があって、共に語らい、共に食べ、こんな団地に私は住みたい」